

IM-X Server Version 5.1.2

リリース・ノート

第 20 版 2018/12/1

1. はじめに

- (1) 弊社では、この本ドキュメントに記載されている『検証済み環境』にて動作確認をおこなっています。
- (2) 弊社の提供するドキュメントに記載の無い全ての事柄は、サポート対象外です。
- (3) 本製品に関する、最新の技術情報は次のサイトをご覧ください。

intra-mart Developer Support Site : <https://dev.intra-mart.jp/>

- (4) IM-X Server のデザイナー (IM-X Designer) で作成した帳票テンプレートは、日本オプロ社 OPRO X Server 製品のデザイナー (OPRO X Designer) で開くことはできません。また、日本オプロ社 OPRO X Server 製品のデザイナー (OPRO X Designer) で作成したテンプレートを、IM-X Server のデザイナー (IM-X Designer) で開くこともできません。
- (5) スクリプト (ページベース) 開発モデルから呼び出す場合、Java API を使用する方法があります。
Java API のドキュメントについては、「3. ドキュメントリスト」をご覧ください。また、Java クラス呼び出しについては、intra-mart 製品に付属の API リスト[スクリプト開発モデル]-[・その他]-[JAVA クラスの利用]を参考ください。
- (6) サンプルについて
 - ※ [INSTALL_PATH]は、IM-X Server インストールディレクトリを指します。
 - ・ Java API のサンプルは、[INSTALL_PATH]/tools/api/java/sample.java です。
 - ・ Windows API のサンプル (Delphi) は、[INSTALL_PATH]/tools/api/win/delphi/delphi_sample.zip です。
 - ・ Windows API のサンプル (VB) は、[INSTALL_PATH]/tools/api/win/vb/vb_sample.zip です。
 - ・ Windows API のサンプル (VC++) は、[INSTALL_PATH]/tools/api/win/vc++/vc++_sample.zip です。
 - ・ HTTP 連携の場合、デザイナーのオプションメニュー → 「サンプル HTML の作成」から、呼び出し用 HTML のサンプルを作成することができます。
 - ・ IM-X Server Management Service Java API のサンプルは、api/sample1.java および sample2.java です。
- (7) 既に IM-X Server 5.0.0 ~ 5.0.14 のいずれかのバージョンが動作している環境にインストールする場合は、上書きインストールではなく、新規インストールを行ってください。新規インストールの手順については「3. ドキュメントリスト」にあるユーザーガイド・リファレンスをご参照ください。

2. バージョンアップ内容

- (1) IM-X Server 5.1.2 の更新内容
OPRO X Server が 2.7.4.2 から 2.7.4.3 にバージョンアップしました。
更新内容の詳細については「3. ドキュメントリスト」にあるソフトウェアの更新履歴をご参照ください。
- (2) IM-X Server 5.1.1 の更新内容
OPRO X Server が 2.7.4.1 から 2.7.4.2 にバージョンアップしました。
更新内容の詳細については「3. ドキュメントリスト」にあるソフトウェアの更新履歴をご参照ください。
- (3) IM-X Server 5.1.0 の更新内容
OPRO X Server が 2.7.0.21 から 2.7.4.1 にバージョンアップしました。
更新内容の詳細については「3. ドキュメントリスト」にあるソフトウェアの更新履歴をご参照ください。
- (4) IM-X Server 5.0.14 の更新内容
OPRO X Server が 2.7.0.19 から 2.7.0.21 にバージョンアップしました。
更新内容の詳細については「3. ドキュメントリスト」にあるソフトウェアの更新履歴をご参照ください。
- (5) IM-X Server 5.0.13 の更新内容
OPRO X Server が 2.7.0.17 から 2.7.0.19 にバージョンアップしました。
更新内容の詳細については「3. ドキュメントリスト」にあるソフトウェアの更新履歴をご参照ください。
- (6) IM-X Server 5.0.12 の更新内容
OPRO X Server が 2.7.0.15 から 2.7.0.17 にバージョンアップしました。
更新内容の詳細については「3. ドキュメントリスト」にあるソフトウェアの更新履歴をご参照ください。
- (7) IM-X Server 5.0.11 の更新内容
OPRO X Server が 2.7.0.8 から 2.7.0.15 にバージョンアップしました。
更新内容の詳細については「3. ドキュメントリスト」にあるソフトウェアの更新履歴をご参照ください。
- (8) IM-X Server 5.0.10 の更新内容
OPRO X Server が 2.7.0.0 から 2.7.0.8 にバージョンアップしました。
更新内容の詳細については「3. ドキュメントリスト」にあるソフトウェアの更新履歴をご参照ください。
- (9) IM-X Server 5.0.9 の更新内容
OPRO X Server が 2.6.2.45 から 2.7.0.0 にバージョンアップしました。
SAP 連携のデモファイル (oxsms-sap-demo.zip) は削除されました。
更新内容の詳細については「3. ドキュメントリスト」にあるソフトウェアの更新履歴をご参照ください。
- (10) IM-X Server 5.0.8 の更新内容
OPRO X Server が 2.6.2.40 から 2.6.2.45 にバージョンアップしました。
更新内容の詳細については「3. ドキュメントリスト」にあるソフトウェアの更新履歴をご参照ください。
- (11) IM-X Server 5.0.7 の更新内容
OPRO X Server が 2.6.2.32 から 2.6.2.40 にバージョンアップしました。
更新内容の詳細については「3. ドキュメントリスト」にあるソフトウェアの更新履歴をご参照ください。

- (1 2) IM-X Server 5.0.6 の更新内容
OPRO X Server が 2.6.2.20 から 2.6.2.32 にバージョンアップしました。
更新内容の詳細については「3. ドキュメントリスト」にあるソフトウェアの更新履歴をご参照ください。
- (1 3) IM-X Server 5.0.5 の更新内容
OPRO X Server が 2.6.2.0 から 2.6.2.20 にバージョンアップしました。
更新内容の詳細については「3. ドキュメントリスト」にあるソフトウェアの更新履歴をご参照ください。
- (1 4) IM-X Server 5.0.4 の更新内容
OPRO X Server が 2.6.1.6 から 2.6.2.0 にバージョンアップしました。
更新内容の詳細については「3. ドキュメントリスト」にあるソフトウェアの更新履歴をご参照ください。
- (1 5) IM-X Server 5.0.3 の更新内容
OPRO X Server が 2.6.1.0 から 2.6.1.6 にバージョンアップしました。
更新内容の詳細については「3. ドキュメントリスト」にあるソフトウェアの更新履歴をご参照ください。
- (1 6) IM-X Server 5.0.2 の更新内容
OPRO X Server が 2.6.0.49 から 2.6.1.0 にバージョンアップしました。
更新内容の詳細については「3. ドキュメントリスト」にあるソフトウェアの更新履歴をご参照ください。
- (1 7) IM-X Server 5.0.1 の更新内容
OPRO X Server が 2.5.5.81 から 2.6.0.49 にバージョンアップしました。
更新内容の詳細については「3. ドキュメントリスト」にあるソフトウェアの更新履歴をご参照ください。
- (1 8) IM-X Server Management Service 5.0.4 リリース
OXSMS 2.6.2.2008.10.24 (SAP 連携のデモファイル (oxsms-sap-demo.zip) を含む) をリリースしました。
更新内容の詳細については「3. ドキュメントリスト」にあるソフトウェアの更新履歴をご参照ください。

3. ドキュメントリスト

以下ファイルは、Product File Download サイトよりダウンロードいただいた zip ファイルにあります。

※zip ファイルのダウンロードは、各製品のライセンスキーが必要です。

・IM-X Server / IM-X Designer

- (1) OXS ユーザーガイド・リファレンス (HTML)
最上層にある userguide.html です。セットアップ等の際にご参照ください。
- (2) OXD/OXB ユーザーガイド・ヘルプ (PDF, CHM)
各製品名のフォルダ以下「manual」にあります。
- (3) デザイナーファーストステップ (PDF)
userguide/01_oxd_firststep.pdf です。また、OXS ユーザーガイド・リファレンスからもアクセスできます。
- (4) CGI / サブレット パラメーターリスト (HTML)
reference/parameter_list_ja.html です。また、OXS ユーザーガイド・リファレンスからもアクセスできます。
- (5) Java API ドキュメント
reference/api/java/doc_jp/index.html です。また、OXS ユーザーガイド・リファレンスからもアクセスで

きます。

- (6) ソフトウェアの更新履歴
releasenote.txt の、「◆3. バージョンアップ履歴」をご覧ください。

・IM-X Server Management Service

- (1) 製品マニュアル (PDF)
最上層にある manual_oxms_ja.pdf です。
- (2) Java API ドキュメント
api/doc_ja.zip および doc_en.zip です。
- (3) ソフトウェアの更新履歴
releasenote.txt の、「◆4. バージョンアップ履歴」をご覧ください。

4. 動作環境

IM-X Server V5.1.2 が動作するには、下記が必要です。

- intra-mart WebPlatform/AppFramework Version 6.x
- intra-mart WebPlatform/AppFramework Version 7.x
- intra-mart Accel Platform 2012 Winter 以降

但し、IM-X Server Management Service に関しては、intra-mart WebPlatform/AppFramework Version 6.x は未対応となっております。本ドキュメントに記載されていない事項については、intra-mart WebPlatform/AppFramework または intra-mart Accel Platform の同製品のリリース・ノートを参考ください。

(1) IM-X Server

① システム要件

Java 実行環境	JRE 6 以上 (Oracle Java SE JRE 6 が OXS と共にインストールされます。)
Web/AP サーバー	Java Servlet (Servlet 2.2 以上) または CGI をサポートするサーバー
CPU	OS の要件に準ずる
メモリー	OS の要件に準ずる
ディスク容量	200 MB 以上の空き容量
OS	JRE 6 以上が動作する OS
データベース	JDBC 3.0 以上を実装した JDBC ドライバーが提供されるデータベース

② 検証済み環境

Java 実行環境	Oracle Java SE JRE 6/8
Web/AP サーバー	Tomcat 7.0/8.5

OS	Windows Server 2016 (x64) Windows Server 2012 (x64) Windows Server 2008 (R2) (x86/x64) Windows 10 Pro (x64) Windows 7 Professional (x86/x64) Red Hat Enterprise Linux 5/6 Solaris 10
データベース	PostgreSQL 9 SQL Server 2008/2012/2014/2016

※ サーバーからの直接印刷機能 (Print Service) は、Windows プラットフォームのみに対応しています。

※ CGI は、Windows プラットフォームのみに対応しています。

※ Windows プラットフォーム以外でグラフ生成・画像の透過処理を使用する場合は、X Window 稼働下で IM-X Server を起動する必要があります。(OXS 2.7.0 から追加された Chart コンポーネントを使用してグラフを表示する場合は、GUI 環境は必要ありませんが、server.sh で、OXS 起動オプションとして「-Djava.awt.headless=true」を追加する必要があります。)

※ OXS API for Java は、JRE 1.4.2 以上で動作します。

※ OXS API for Windows を使用する場合は、JRE 1.4.2 以上が必要です。

※ IM-X Server SOAP Interface は、IWP/AFW Ver.7.x の環境で 動作確認を行っています。

(2) IM-X Designer

① システム要件

OS	Windows 10 Pro Windows 8.1 Pro Windows 8 Pro Windows Server 2012 Windows 7 Professional Windows Server 2008 (R2) すべて x86 向けですが、x64 でも 32-bit モードで使用できます。
CPU	OS の要件に準ずる
メモリー	OS の要件に準ずる
ディスク容量	インストールには 40 MB 以上の空き容量が必要 動作させるには 100 MB 以上の空き容量を推奨

② 検証済み環境

OS	Windows 10 Pro
	Windows 8.1 Pro
	Windows 8 Pro
	Windows Server 2012 Standard
	Windows 7 Professional (SP1)
	Windows Server 2008 Standard/Enterprise Edition (SP1/SP2/R2)

(3) IM-X Server Management Service

① システム要件

サーブレット コンテナ	Servlet 2.4 以上、JSP 1.2 以上をサポートするサーブレットコンテナ
Java 実行環境	JDK 1.4.2 以上
CPU	利用する サーブレットコンテナの推奨値以上
メモリー	利用する サーブレットコンテナの推奨値以上
ディスク容量	10 MB 以上の空き容量 (実行モジュールのサイズ) (保管する履歴の量により、サイジングが必要です)
データベース	JDBC 3.0 以上を実装した JDBC ドライバーが提供されるデータベース
管理画面閲覧環境 (ウェブブラウザ)	Internet Explorer 11, Chrome 67 以上, Firefox 60 以上

② 検証済み環境

サーブレット コンテナ	Tomcat 7.0/8.5
Java 実行環境	Oracle Java SE JRE 6/8
データベース	PostgreSQL 9

※ OXSMS API for Java は、JRE 1.4.2 以上で動作します。

5. 著作権および特記事項

intra-mart は株式会社 NTT データ イントラマートの商標です。

OPRO X Server は日本オプロ株式会社の商標または登録商標です。

Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名などはそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本製品を使用する場合は、本製品に含まれる各ソフトウェアのライセンスについても同意したものとします。

各ソフトウェアのライセンスについては、同封のライセンスシートをご参照ください。

6. 変更履歴

変更年月日	変更内容
2018/12/1	第 20 版 ・ 製品名の表記を「IM-X Server」に統一。 ・ 「3. ドキュメントリスト」内の記述修正。 ・ 「4. 動作環境」内の構成を、システム要件、検証済み環境に分けて記載。